

参入市町村名	愛知県豊田市(旧稲武町)	
法人等名(業態名)	株式会社杉田組(建設業)	
参入の種別	特定法人貸付事業	
農業部門の概要	栽培作物	ブルーベリー
	経営規模	約 3.9ha
	雇用者数	役員 1 名、従業員 5 名、他臨時雇用
地域の概要	<p>旧稲武町は平成 17 年 4 月、近隣の 6 町村が豊田市と合併。豊田市でも北東部、長野県と岐阜県の県境に位置する中山間の町。古くから飯田街道と美濃街道が交差する交通要衝の地であり、現在も名古屋方面から南信への重要なアクセス路となっている。</p> <p>自然や天然資源を活かした観光や体験型農業などグリーンツーリズムの取り組みが進められている。</p>	
参入の動機、きっかけ、参入の経過など	公共工事の減少により「建設業の足しになれば」と農業参入。	
農業経営(農業事業)の内容	ブルーベリーの観光農園「ブルーベリーのこみち」を 2008 年 7 月 1 日にオープン。6 次産業化法の認定を受け、2013 年「こみちのケーキ屋さん」を開始。	
農産物の販売状況	農園の直売所、近隣のスーパーや道の駅等にて販売。	
農業参入にあたって苦労したこと	作物の選択にあたり、試行錯誤の結果、ブルーベリーにたどり着いた。しかし、地域にはブルーベリーの専門家が無く、品種選択や土壌改良、栽培技術で苦労した。	
現在の課題、問題点	経営規模をどこまで拡大していくかが課題。また、運転資金の確保も建設業社として農業に参入したため、建設業との分離が難しいとの事で、容易に制度融資が受けられないのが問題である。	
農業参入で良かったと思う点	会社内にも活気が出て、若い社員も頑張ってくれている。地域からも認められ、農園の周囲の高齢農家からは「うちの農地も作ってほしい」などの依頼も飛び込んでいる。	
今後の展開方向、行政や関係機関に望むこと	かつて地元の建設業者は地域の振興に多大な尽力をした。今、同業者の多くにはそれは望めないが、この農業を通じてなら、改めて地域貢献ができると思うので、「ブルーベリーによる町おこし」を積極的に進めていきたい。	